

フィールドワーク

尾瀬フィールドワーク事前学習

SSH
Super Science High school

2025年7月7日 場所：講義室

尾瀬を学び、感じるフィールドワークの第一歩

科学技術高校では毎年8月に希望者を募り、尾瀬フィールドワークを行っています。毎年定員を超えるほどの人気行事です。7月7日、フィールドワークに向けた事前学習を行いました。

尾瀬は、福島県・栃木県・群馬県・新潟県の4県にまたがる、標高約1,400メートルの広大な高原盆地です。湿原や木道、透き通る川、そして可憐に咲くミズバショウなど、尾瀬でしか見ることのできない自然の美しさと、生命の営みがあります。

今回の事前学習では、「歴史」「鳥」「花」「環境保全」などのテーマを生徒に割り振り、それぞれが調べた内容をパワーポイントにまとめて発表しました。教員による尾瀬の概要説明の後、一人ひとりが工夫を凝らしたスライドを使い、堂々と発表を行いました。特に、ミズバショウやニッコウキスゲといった尾瀬特有の植物についての発表では、美しい写真や図を交えた説明に、皆が引き込まれるように耳を傾けていました。発表後には質疑応答の時間が設けられ、参加者全員で尾瀬への理解をより深めることができました。

振り返りでは多くの生徒が、「調べ学習を通して尾瀬の自然の奥深さを知った」「鳥の鳴き声や湿原の風景を実際に見てみたい」と語っていました。現地での体験がますます楽しみになる、充実した学びの時間となりました。



探究や外部発表でプレゼン能力は鍛えられています



平滑の滝



池塘（水がたまった小さな池）